

安心感地域 No.1を目指します!!

かけはし



はくい三銃士

3

2025
March

Vol. 324

JAはくい



JAはくい押水花木部会から提供いただいた啓翁桜と雲竜柳、額草、サンゴミズキ(JA本店)



HP



Instagram



LINE

— 良質な米づくりに向けて —

令和6年度 営農座談会を開催

J Aはくいは2月5日、本店と宝達支店の2会場で「営農座談会」を開催し、合わせて83人が参加しました。令和6年産の米づくりを振り返り、次年度に向けた対策を説明しました。また、J Aの自己改革実践サイクルについての取り組み状況も報告しました。



宝達志水地区を対象に開かれた営農座談会(宝達支店)

生育概況について

育苗期間は高温の影響で、換気不足のハウスでは軟弱徒長苗や葉ヤケが発生しました。また、地震の影響で一部の田植えが遅れました。

軟弱徒長苗の活着不良や藻・ガスの発生、低温により初期分けつは緩慢でした。

幼穂形成期と出穂期は、6月下旬から7月に気温が高かったため、早まりました。

登熟期では、特にコシヒカリで、中干し不足と高温及び日照不足、土壌窒素量の影響により倒伏が散見されました。

品質概況について

令和6年産米の1等米比率は88・8%で前年の91・3%からやや低下しました。

品質低下の主な要因は斑点米で、その割合は8・0%に達し、平成22年以降で2番目に高い数値となります。

斑点米

暖冬により越冬カメムシが増加し、除草管理が不十分な圃場で繁殖が進んでいます。圃場の雑草がカメムシを引き寄せ、大型飛翔性カメムシの増加で被害期間が延長しています。さらに、防除の未実施(特に3回目)や遅れが被害を拡大させています。

【対策】

- ・品種の団地化
- ・畦畔、農道、本田の除草
- ・適期に3回の防除

乳白粒

乳白粒の発生要因には、ガス沸きや藻による初期生育不良、中干し不足による遅発分げつ増加、倒伏による登熟不良が含まれます。また、出穂後の高温や日照不足、登熟期の水管理不足も影響します。

【対策】

- ・水管理で強い稲体づくり
- ・移植後1週間は深水で管理し、その後は晴天時に浅水管理で分けつを促進、低温時には深水で苗を保護します。軽い田干しを2回行ってガス沸きを軽減し、根張りを向上させます。中干しは茎数が14、16本(移植後約1ヶ月)に達したら開始し、秋まで残る溝切りを実施して、1日通水と3日落水を繰り返します。

高温障害による影響

近年、水稻の高温障害が深刻化しています。令和5年の8月と9月には観測史上最高気温を記録し、北陸などで猛暑が続きました。年平均気温は上昇傾向にあり、このような高温の常態化が懸念されています。

【対策】

- ・基本的な栽培技術の徹底
- ・出穂期が遅いひやくまん穀の導入(高温回避)

収量について

初期の生育不良により、いずれの品種も穂数が平年を下回り、特にコシヒカリとひやくまん穀は収量も減少しました。

【対策】

- ・初期生育の早期確保
- ・中干し(遅発分げつ抑制)

慣行基準の変更

近年の異常高温対策として、葉色等による生育診断と気象予報を参考に上乗せ追肥を推奨していることを受け、石川県が化学肥料使用量(窒素成分)の慣行基準を改正しました。

能登米コシヒカリについては、10アル当たり5.6kg以下から7kg以下に変更されます。登熟期間の栄養確保が目的であるため、基肥の施用量は変えず、穂肥および上乗せ追肥を調整することが推奨されます。

J A自己改革の報告

J A自己改革の実践状況として、水田フル活用による2年3作体系の拡大や専任T A Cによる担い手農家訪問の実績が報告されました。

◆営農座談会当日の資料(詳細)は、営農センターにご用意しております。

《営農座談会での主な質疑応答》

【質問1】 農薬散布について、「質問4」「食料供給困難事態対策法」は、国が生産者に増産を強制し、従わなければ罰金を科す法律ですか？

【回答1】 出穂直前と出穂7日後は収量を確保する大事な時期となっています。2回散布する場合は、この時期を目安にしてください。

【質問2】 基肥一発肥料に乗せ追肥成分が入ったものはありませんか？

【回答2】 現状ではそのような肥料は販売しておりませんが、現在、全農で開発および試験を行っています。情報が入りましたら、早急に皆さまへご案内いたします。

【質問3】 米価は上がっているが、農業機械や資材費も上がっています。米の値段は下がっています。機械や資材費の見直しをしてほしい。

【回答3】 コストは確かに上がっています。JAでは自己改革の中で、まとまった量を利用する担い手の方にメリットが出るような取り組みを行っています。今後も、どのようにすればメリットが出るのかを検討して参ります。

【質問4】 「食料供給困難事態対策法」は、国が生産者に増産を強制し、従わなければ罰金を科す法律ですか？

【回答4】 違います。この法律では、以下の通りです。
・食料供給が大幅に減少する兆候がある場合、国は供給確保のため、一定規模以上の出荷販売業者や輸入業者、生産者に自主的な協力を要請します。これはできる範囲での対応を促すものです。

・この要請を行ってもなお食料供給が減少し、国民生活に支障が出る場合、国は供給確保のため、一定規模以上の出荷販売業者や輸入業者に計画の作成と届出を指示します。

また、出荷や輸入が難しい場合には、生産計画の作成・届出も求めます。

・この計画は供給量を把握するためのもので、事業者が実行可能な内容で構いません。必ずしも増産である必要はなく、計画通りに実施できなくとも罰金は科されません。

このように、本法の措置は要請を基本とし、計画の指示は供給確保に必要な範囲でのみ、一定規模以上の事業者に対して行われます。

伝票処理手数料の新設

JAはくいでは、令和7年4月1日より、団体等のお取引に対して「伝票処理手数料」を新設いたします。(個人を除く)

対象：団体・法人・個人事業主

取引内容：入金・出金

対象伝票：入金申込書・払戻請求書
(QR伝票を含む)

手数料：口座ごと

伝票枚数	金額
1枚～5枚	無料
6枚～19枚	550円
20枚以上	1,100円～ 10枚ごとに550円追加

※詳しくは窓口までお問い合わせください。

(株)JAアグリはくい

事務所の移転のお知らせ

(株)JAアグリはくいでは、農業従事者の高齢化や後継者不足が進む中、増加する農地受託に対応するため、邑知の郷公園内に新たに事務所を建設し、移転いたしました。

【新住所】

〒925-0614

羽咋市中川町は70番地

【業務開始日】

令和7年3月1日(土)

【新連絡先】

TEL：0767-23-5072

FAX：0767-23-5076



JAバンク「QR伝票作成ツール」取扱い開始について

当JAでは、お客様が窓口にご持参いただく伝票を、ご自宅のパソコンで作成できる「QR伝票作成ツール」の取扱いを開始しました。専用ページへアクセスして、サービスをご利用ください。

※専用ページへの入力だけでは、取引は完了しません。

ポイント

- ・伝票の手書きが不要
- ・一度に複数件数の処理が可能
- ・自宅等で印刷して窓口を持参可能

詳しくは、QR伝票作成ツールの商品説明ページをご覧ください。



【お問合せ】貯金課 ☎26-3340

<https://www.jabank.org/qr-tool/>

JAグリーンはくい 臨時休業のお知らせ

3月31日(月)
棚卸のため臨時休業

ご不便をおかけして申し訳ありませんが
ご理解いただけますよう、お願い申し上げます

01
NEWS

共同乾燥調製施設再編整備事業 籾殻燐炭棟新築工事の地鎮祭

J A はくいが新たに建設する籾殻燐炭棟の地鎮祭と起工式が2月10日、羽咋市深江町の建設予定地で行われました。この施設は、J A の共同乾燥調製施設再編整備事業の一環として進められており、関係者らが工事の安全を祈願しました。

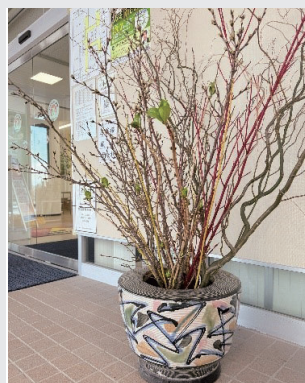
国の「強い農業づくり総合支援交付金」を受けており、今年8月下旬の稼働を予定しています。籾殻燐炭棟では、羽咋カントリーエレベーターと押水ライスセンターから排出される籾殻を燐炭化し、J A の資材センターでの販売や専門業者による買い取りが計画されています。籾殻燐炭には土壌改良効果があり、地域



工事の安全と成功を祈願した(羽咋市深江町)

農業の持続可能性を高めることが期待されます。

山本好和組合長は、「持続可能な農業への大きな一歩。次世代により良い環境を引き継ぎたい」と語りました。



2月17日にJAはくい押水花木部会から啓翁桜などをいただき、本店に飾って桜の開花を楽しみました。

02
NEWS

J A はくい女性部杉中由美子さん 全国家の光大会で体験発表



体験発表に臨む杉中さん(手前)と女性部応援団(横浜市)

『家の光』創刊100周年を記念した第66回全国家の光大会が2月13日、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜で開催されました。

前日のブロック大会では、J A はくい女性部の杉中由美子さんが石川県代表として発表を行い、震災支援への感謝や『家の光』の記事を活用した防災学習会、部員同士の声掛けで志雄支部の部員が徐々に増えていることなどを報告「集って・学んで・楽しむ活動を続けていきたい」と語りました。

03
NEWS

第11期のと里山農業塾閉塾式 自然栽培と仲間づくりの一年

第11期のと里山農業塾の閉塾式が3月1日に開催されました。修了生31人を代表して楠千寿さんが修了証書を受け取り、「みんなで体験した定植や収穫の作業が楽しかった」と振り返りました。

茨城大学名誉教授の中島紀一先生が記念講演で、「作物は育てるものではなく、育つもの。作物が持っている『いのちの力』を感じ取り、サポートすることが大切だ」と語りました。



修了証書を受け取る楠さん(羽咋市中川町)



はとむぎ加賀棒茶などを販売(神戸市)

はとむぎ加賀棒茶や能登米 大丸神戸店でPR

J A はくいは2月16日から9日間、大丸神戸店の物産展「北陸三都味巡り」に出展しました。能登米(1kg)は100袋完売の人気を博しました。



谷口さんから学ぶ参加者(宝達支店)

J A はくい女性部(志雄・押水) 和菓子づくり体験

2月27日、谷口義則さんを講師に迎え、和菓子作りを体験。40人が寒椿や桜など和菓子作りを楽しみました。



05 NEWS

邑知小学校5年生 米づくりの実りを味わう

邑知小学校の5年生が2月19日、米づくり体験への感謝の会を開きました。田植えや稲刈りを指導したアグリスターオナガの濱田栄治さんらを引き、児童が握った塩むすびを味わいました。

今井奎士郎君は「めっちゃもっちりしておいしかった。」

ひやくまん穀の甘みも感じられた」と感想を話しました。

5年生35人は昨年、濱田さんの指導のもとで田植えや稲刈りを体験。「仲間と助け合った」「足がはまったのも良い思い出」と振り返りました。

お米は各家庭にも持ち帰り、家族と味わいました。



心を込めて握った塩むすびを味わった(邑知小学校)

TACパワーアップ大会 担い手支援を報告

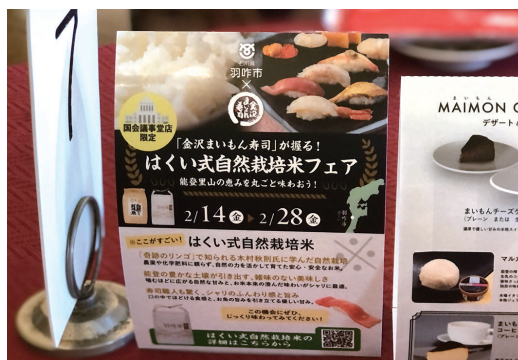
石川県のTACパワーアップ大会が2月7日に開かれ、JAはくい営農部の北山信之介さんが白ネギの機械化体系、松生辰也さんが花木の新品種導入について成果を報告しました。



取り組みを発表するJA職員(農業会館)

04 NEWS

はくい式自然栽培米 国会議事堂で自然栽培米フェア



衆議院議員食堂内のポップ(東京都千代田区)



金沢まいもん寿司の国会議事堂店で2月、「はくい自然栽培米フェア」が開催され、期間限定メニューが提供されました。はくい式自然栽培の取り組みの認知向上と能登復興支援を目的に、羽咋市が主催し、JAはくいが協力しました。

2月14日に訪れた山本好和組合長は、「夢のよう。取り組みが始まって約15年、これまでの努力の結果が出たと思う」と語りました。

羽咋市デイサービスセンター ボッチャで盛り上がる



レクリエーションの一環で、ボールを投げて的に近づくゲーム、ボッチャを皆で楽しみました。

多機能ホームJAたんぽぼ 笑顔誘う雪だるま



冬の風物詩、かわいい姿の雪だるまと雪うさぎに、思わず笑顔がこぼれました。

羽咋市デイサービスセンター 節分に鬼退治の寸劇



節分に鬼に扮したスタッフが寸劇を披露。豆の代わりにお手玉を投げて、鬼を追い払いました。

たんぽぼデイサービスセンター タオルのご寄付に感謝



宝達志水町女性の会からタオルやティッシュを寄贈いただき、大切に使用させていただきます。

たんぽぼ通信



彩り恵方巻で節分を満喫

多機能ホームJAたんぽぼ



節分の日に恵方巻を作りました。皆さんが彩り豊かに、上手に巻いてくれました。タマゴやカニカマ、ホウレンソウなど華やかです。



一年間の幸運を祈りました

気分は丸かじり。すし飯になると食欲が湧くのでしょいか、皆さんペロリと平らげていました。

「介護職」「看護師」を募集しています

「あなたの力」で、みんなを笑顔にしてみませんか！

【お問い合わせ】福祉ふれあい課
多機能ホームJAたんぽぼ ☎29-2880

JAはくい新採職員の募集について

- 募集人数 (1) 正職員 若干名
(2) 職種限定正職員 若干名(福祉/農機/自動車)
- 応募資格 (1) 地域の経済発展と農家の幸せのために、
自己の能力を活かそうという気概を持った者。
(2) 令和8年3月に大学・短大・専門学校を卒業
見込みの者、及び既卒5年以内の者。
- 勤務条件 『マイナビ2026』に掲載
- 提出書類 履歴書(自筆)、卒業見込証明書、成績証明書
- 採用窓口 〒925-8588 羽咋市太田町と105番地
JAはくい 総務人事課
TEL: 26-3331
E-mail: somu@hakui.is-ja.jp

企業
説明会

日時: 3月26日(水) 14:00~16:00

4月14日(月) 14:00~16:00

会場: JAはくい本店 大会議室

採用
試験

日時: 4月22日(火) 13:30~16:00

会場: JAはくい本店 大会議室

内容: 筆記試験、適性検査、作文

現在、以下の職種について【中途採用】を行っています

- 羽咋支店 営業職(正職員)
- 福祉施設 介護職・看護職(臨時職員)
- 農機センター 農機具整備士(臨時職員)
- 自動車センター 自動車整備士(臨時職員)

※詳細は、JAはくいのホームページをご覧ください。

JAはくい北部・南部育苗センター
水稲育苗後ハウス利用者募集

当JAの南部・北部育苗ハウスは、稼働期間が3か月(3月~5月)と短期間であるため、稼働休止する9か月間は、園芸施設として貸し出し、有効活用することで、園芸作物の生産振興と農家所得向上を図ります。

これまでに、石川県産フリージア「エアリーフローラ」や葉物野菜の栽培実績があります。

1. 貸出場所 羽咋市深江町 北部育苗ハウス
(間口6m、奥行28m、56m)
宝達志水町敷浪 南部育苗ハウス
(間口6m、奥行42m、56m)
2. 利用期間 育苗期以降 6月1日~2月末日【単年度】
3. 利用料金 1か月当たり 1棟 5,500円(税別)
※期間途中に利用解除を申出た場合、利用料の払戻し致しません。
4. 対象者 組合員
※基本的に一人1棟の利用としますが、グループの場合はご相談ください。
※応募が多数の場合は、「利用申込書」審査し、利用者を決定します。
5. 申込期日 5月26日(月)

【お問合せ】園芸課 ☎29-3155

図1 サトイモの付き方

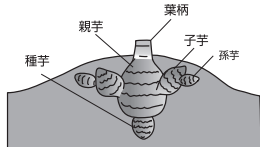


図2 畑の準備

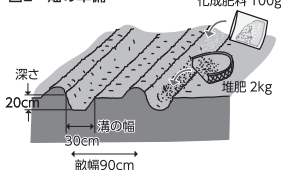


図3 植え付け

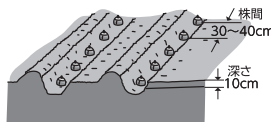
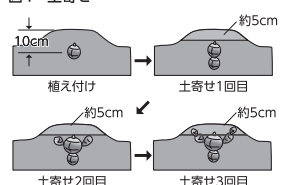


図4 土寄せ



【畑の準備】中間地では地温が上がってくる4月中旬ごろから植え付けができます。地上に芽を出すまでに1カ月かかるので、暖かい場所ですコンテナに仮植えし、芽出してから菜園に植え込むと良い程度かかります。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷりと与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

※関東南部以西の平たん地を基準とする。

【畑の準備】連作を嫌うため、同じ畑で3、4年は作らないようにします。1平方メートルあたり苦土石灰100gを早めに全面に散布し、畝幅90cm程度とし、深さ20cmの溝を掘ります。元肥は、溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100g、堆肥2kgを施します(図2)。肥料をまいた後、土を5cm程度かきます。

【畑の準備】連作を嫌うため、同じ畑で3、4年は作らないようにします。1平方メートルあたり苦土石灰100gを早めに全面に散布し、畝幅90cm程度とし、深さ20cmの溝を掘ります。元肥は、溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100g、堆肥2kgを施します(図2)。肥料をまいた後、土を5cm程度かきます。

サトイモ 土寄せと灌水で芋を大きく

良生育適温は25~30度と高く、低温に弱いので、霜で葉がすぐに傷みます。畑の乾燥に極めて弱く、一度しおれると回復が遅く、また芋の肥大中に乾燥すると、芋にひび割れが生じます。畑は耕土が深く、適度に水持ちし、水はけが大切です。

【追肥・土寄せ】土寄せは芋の肥大に関係し、一度に多くの土寄せをすると子芋の数が少なく、かぎ形の芋になりやすくなります。土寄せが少なく子芋の肥大が悪くなり、子芋が地上に顔を出し、芋が緑化してしまします。1回目は5、6葉のときに、株の周りに1株当たり化成肥料10gくらいを追肥し、高さ5cm程度土寄せします。2回目は半月後、さらに3回目はその半月後に同様に追肥し、高さ5cm程度土寄せします(図4)。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷりと与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷりと与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷりと与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷりと与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷりと与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷりと与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷりと与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷりと与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷりと与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷりと与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷりと与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

あなたもチャレンジ!

家庭菜園

園芸研究家

成松 次郎

まちがい探し

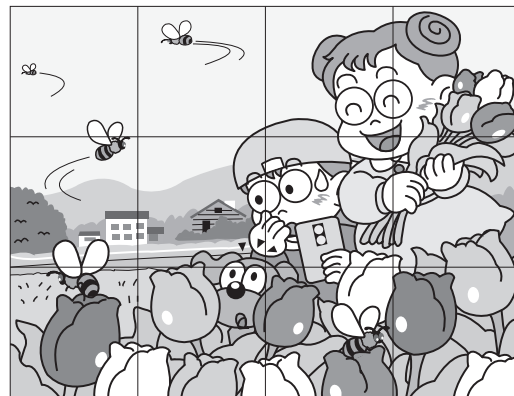
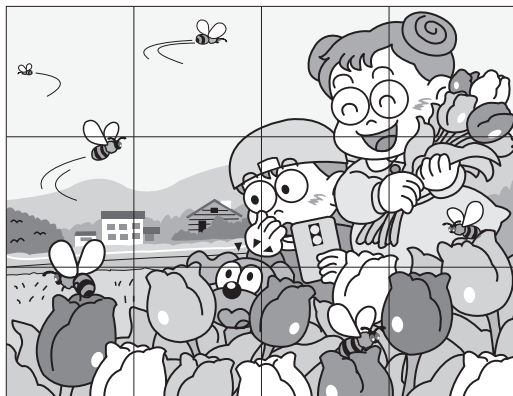
今回の賞品



JAグリーンはくいで使用できる「農協全国商品券」1000円分(抽選で10名様)

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を下のイラストの中の数字でお書きください。

見つけてスッカリ!



先月号(2月号)の答え

- 2 ... のぼりがない
- 5 ... フードが大きい
- 7 ... 糸のほつれがない
- 11 ... 魚が1匹多い
- 12 ... ボトルが少ない

応募方法

ハガキに ①答え(5カ所の番号) ②住所・氏名・年齢・職業・電話番号 ③ご意見・ご感想・身近な話題などを添えてご応募下さい。

●宛 先/〒925-8588 羽咋市太田町と105 J Aはくい本店 広報担当

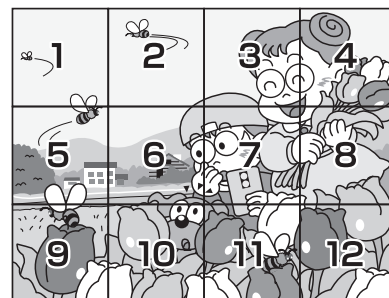
●応募締切/3月31日(月) 当日消印有効

☆郵送または最寄りの支店にご持参ください。

☆QRコードの応募フォームからでもご応募いただけます。

※ご応募いただいたお客様の情報は、抽選及び発送の目的以外には利用いたしません。

※ご意見やイラストは誌面で紹介する場合がございます。



2月号のご応募ありがとうございました。(応募112通)

村上美千子 様 南谷 伊作 様 柄折喜美子 様 高野 繁雄 様 松井 啓子 様
宮田 久子 様 備後 文恵 様 濱辺 宏味 様 北澤進次郎 様 山田 久雄 様

第10回理事会

2月28日(金)

< 議 案 >

- (1) 令和6年能登半島地震の被災施設に係る米等の受け入れについて
- (2) 会計監査人の報酬等について
- (3) 信用手数料徴収規程の一部変更について
- (4) 信用事業規程の一部変更について
- (5) 日本政策金融公庫資金の借入と転貸について
- (6) 組合員出資口数の減少について

< 報 告 >

- (1) 組合員の加入及び脱退について
- (2) 共同乾燥調製施設再編工事に係るⅢ期工事の入札について
- (3) ㈱J Aアグリはくい事務所移転について
- (4) 実績報告等(金融・共済部門)について
- (5) 実績報告等(営農部門)について
- (6) 実績報告等(経済部門)について
- (7) 実績報告等(福祉部門)について
- (8) 実績報告等(総務部門)について
- (9) ㈱J Aサービス営業報告について
- (10) ㈱J Aアグリはくい営業報告について



編集後記

「たんぼ通信」の写真は、毎月各施設から提供されており、人気のコーナーとなっています。今月号でも、皆さんの楽しそうな様子が垣間見え、特に羽咋市デイサービスセンターの鬼退治の寸劇は微笑ましい瞬間が捉えられていました。

私の家族も、祖母、祖父、父がたんぼデイサービスセンターや多機能ホームでお世話になりました。職員の皆さんの専門性とあたたかさに触れて、心から感謝しています。(坂元)

皆さまの声を私たちにお届けください 【理事に関する情報窓口】

当J Aの監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法(第35条の5)及び農協法施行規則(第81条)に基づき、組合員より理事の職務の適正な遂行阻害する行為(組合経営に関する事象に限る)に関する情報の提供を求めています。

理事の組合経営に関する行動で、気になる点がございましたら、電話または封書にて下記宛てにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

《連絡先》 〒925-8588 羽咋市太田町と105

J Aはくい 監査室

電話番号：0767-26-3332 (直通)

受付監事：常勤監事 上野 浩幸 宛

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷またはそれに類似する内容のものは受付いたしかねますので、あらかじめご了承ください。※情報は個人情報保護法及び当J Aの規定に基づき、厳重に管理し秘密を厳守いたします。

J Aはくい 監事会 中西智彦 上野浩幸 森田克秀
上月正美 山崎和広 宮島 勝

春

J Aはくい農機センター

の農繁期
土日祝対応

・期 間：4/19(土)～5/11(日)

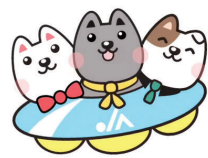
・営業時間：8:15～17:15

【お問合せ】農機センター ☎26-2383



厳しい気象条件を乗り越え 新年度へ一歩

各部会の総会ハイライト



2/7 (金) ふれあい産直市



J A グリーンはくい「ふれあい産直市」(会員173名)の総会が2月7日に J A 本店で開催されました。令和6年度の産直品売上実績は1億2,386万円で、前年比103.3%となり、過去最高を記録しました。濱田栄治会長は挨拶で、「新鮮で安全な産直の良さを活かし、生産者と消費者をつなぐ場としてご利用いただければ」と述べました。

2/10 (月) ぶどう部会



J A はくいぶどう部会は2月10日、第22回通常総会を営農センターで開催。米沢忠尋部会長は「近年の猛暑被害への十分な対策をお願いします」と呼びかけました。

令和7年度には新規生産者1名が加わり、部会員は30名となります。生産者と J A、行政による「ぶどうの将来を考える会」で、産地計画の策定を進める予定です。

2/17 (月) 神子原くわい生産組合



神子原くわい生産組合は2月17日、園芸総合集出荷場で通常総会を開催。夏の高温で M サイズが中心となり、10月上旬の枯れ上がり防止と肥大不良の改善が課題です。

能登野菜に認定されており、現在は4名が41.7アールで生産。平久信生産組合長は、「メンバーは少ないが、協力しながら何とか継続していきたい」と語りました。

2/18 (火) 押水いちじく部会



J A はくい押水いちじく部会の総会が2月18日に宝達支店で開かれました。

部会は35名で構成されており、令和7年度には「樹井ドーフィン」や「ピオレ・ソリエス(黒蜜蛇)」などで、販売金額5,100万円を目指します。松浦尚輝部会長は、「大玉率の向上を図り、収量と販売金額を伸ばしたい」と語りました。

2/21 (金) 押水花木部会



J A はくい押水花木部会は2月21日、宝達支店で通常総会を開催。30名で構成され、今年度の出荷実績は6,128万円です。

昨年10月には、なにわ花いちばや宝達志水町との三者協定を締結し、協力体制を強化。稲垣稔博部会長は挨拶で、新たな共販品目の開発や若手農業者の獲得・育成、産地の P R に力を入れる意欲を示しました。

2/25 (火) 白ねぎ部会



J A はくい白ねぎ部会(部会員11名)は2月25日、営農センターで第27回総会を開催。暑さに強い品種を試験的に導入し、北出和明部会長は「夏越し対策を含め、消費者に喜ばれる良質な白ねぎを多く出荷してほしい」と述べました。役員改選で、部会長に原雅幸さん、副部会長に寺井敬哉さんと出倉裕一さんが選出されました。

2/25 (火) ハトムギ部会



J A はくいハトムギ部会は2月25日、休暇村能登千里浜で第11回通常総会を開催しました。令和7年度は8名が約8ヘクタールで作付けを予定しており、川嶋亮一部会長は「体調に留意して、ハトムギを頑張って作っていきましょう」と呼びかけました。

J A の経済課が、はとむぎ茶の販売実績や新規取引先について報告しました。

2/26 (水) スモモ部会



J A はくいスモモ部会(部会員9名)は2月26日、宝達支店で総会を開催。松井良久部会長が出荷量減少の原因について意見を求めたところ、気象条件や老木化、剪定不足による日照不良が挙げられました。

松井部会長は「市場からは地元食材として非常に期待されている。作る魅力もあり、その期待に応えたい」と話しました。

2/27 (木) ナス部会



J A はくいナス部会は2月27日、営農センターで第12回通常総会を開催しました。ここ数年、高温の影響で栽培管理が難しくなっている中、部会では栽培講習会や現地検討会を計画に盛り込みました。

令和7年度は5名が生産に取り組む予定です。安達忠俊部会長は「今年も力を合わせて頑張りたい」と話しました。